

整理番号： 7 - 1

提言題名：芸術作品の市長表彰の根拠と壁画等作品のメンテナンスについて

【提言の要旨】

市立小中学校作品展、とりでスクールアートフェスティバル、ボックスヒル芸大展にて「市長賞」がありますが、作品についてのコメントなどなく、表彰する根拠が不明である。

市内各所のアート作品のメンテナンスを行ってください。

(令和2年1月受付)

【回答の要旨】

日頃から市政に格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ご指摘いただきました市企画展等の市長賞作品の根拠表示及び市内各所のアート作品メンテナンスについて回答いたします。

初めに作品の根拠表示についてでございますが、市展等に関しましては、審査員が一人の独任性ではなく、公平性の観点から数人（取手美術作家展会員）での合議制を採用しております。

そのため、独任性の場合は一人のため評価コメントを示せませんが、合議制の場合は多人数のため、コメントに関しましては表示をしていない状況でございます。合評会という形で審査員の方々のコメントをそれぞれお話しておりますので、この日をご利用下さいますようお願い申し上げます。（今後の予定、書・写真・工芸・デザインの部が2月29日（土）午前10時30分からボックスヒル4階アートギャラリーにて）

また、とりでスクールアートフェスティバルは展示のみで賞は設けておりません。ボックスヒル芸大展につきましては市の所管ではないのでお答えすることが出来ず申し訳ございません。

続きまして、市内各所のアート作品メンテナンスに関してでございます。特にご指摘の取手駅高架下の作品は、汚れが酷い時期がございました。

市としましても定期的に清掃を実施していますが、常時、鳥の糞が壁面に付着している状態になっております。

JR 東日本様の方でも鳥の侵入を防ぐ手段として高架下にネットを張り、清掃をして頂いております。

未だ不十分な状態ではございますが、今後とも清掃をしていく所存でございますので、何卒、ご理解の程宜しくお願いいたします。

その他の駅周辺のアート作品についても見回りを実施しており、汚れた部分について清掃を行っております。

これからも各作品設置箇所を巡回し、アートの街を維持してまいりたいと思っております。

(文化芸術課 令和2年2月回答)